

東北大学におけるダイバーシティ推進： 皆が輝ける大学を目指して

田中 真美

東北大学副学長（DEI推進担当）

東北大学 DEI推進センター長

医工学研究科・工学研究科 教授

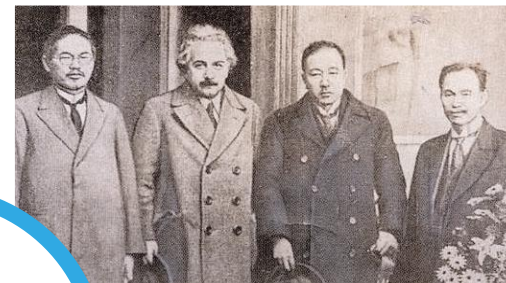
「社会とともにある大学」としての東北大学

2

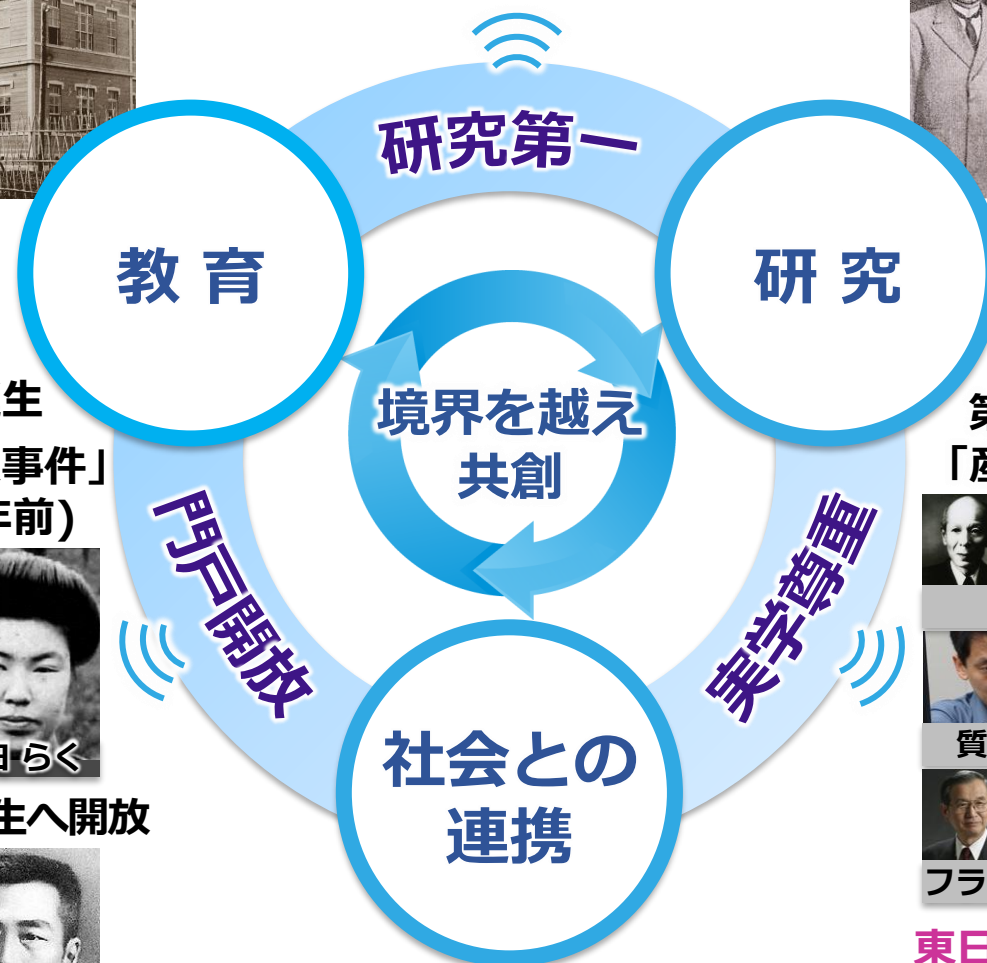
1907年 東北帝国大学の創立
三番目の帝国大学



「仙台は学術研究に最適な都市」
アインシュタイン, 1922



研究と教育は車の両輪



多様性を力に

日本初の女子大学生の誕生
「女子の帝大入学は重大事件」
文部省, 1913 (111年前)



専門学校・師範学校・留学生へ開放



社会価値を創造

第6代総長 本多光太郎
「産業は学問の道場なり」



東日本大震災からの復興へ
貢献、大学の社会的使命を
構成員が強く自覚, 2011～

2024年
国際卓越研究
大学に採択

THE WORLD
UNIVERSITY
RANKINGS

THE
世界大学ランキング
日本版

第1位

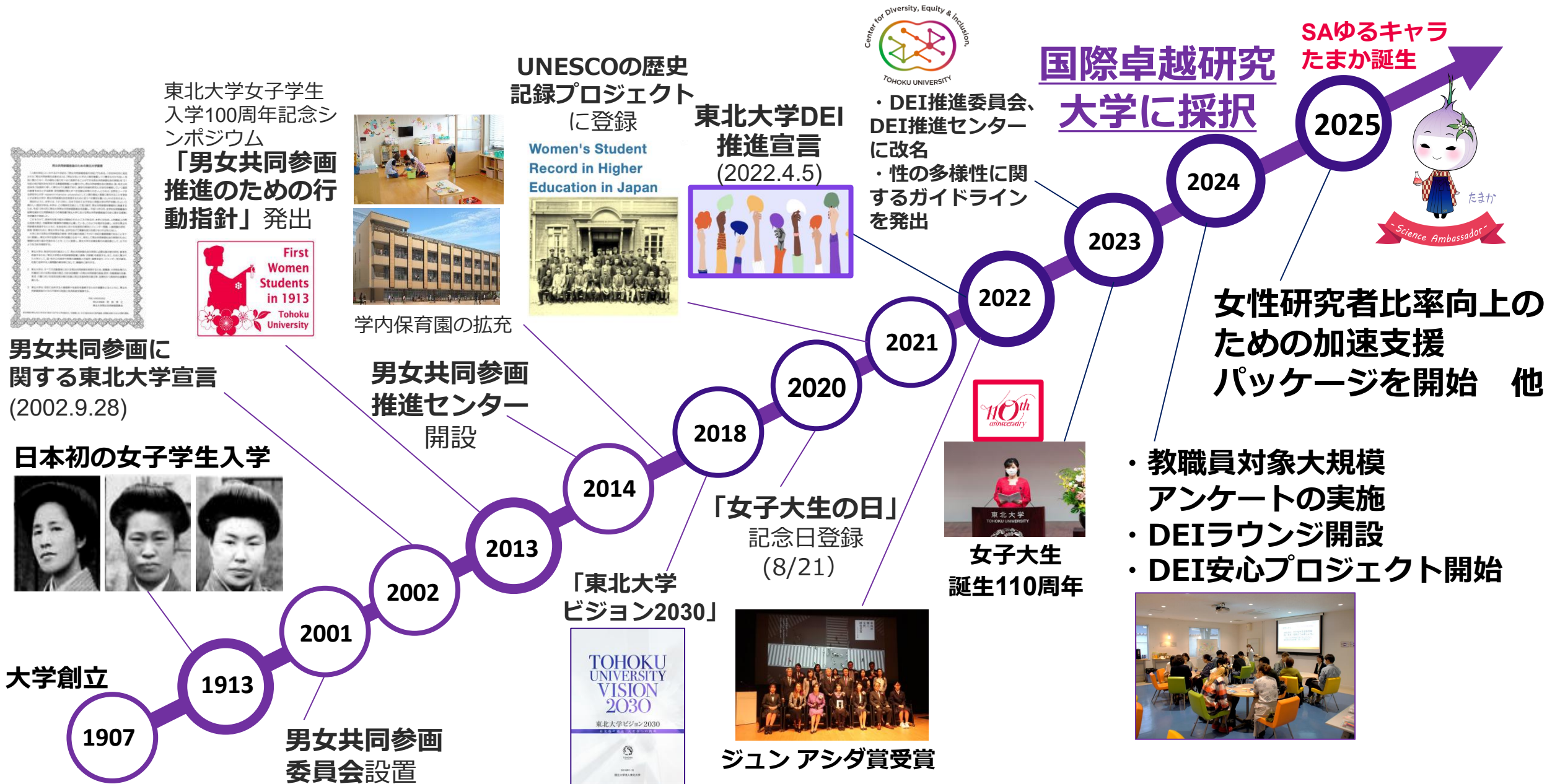
5年連続



高校からの評価

2006～2022年までで
総合1位を15回

東北大学におけるダイバーシティ推進の歴史



UREX- TOHOKU

Japan's First
University for
International
Research
Excellence



EN / JA

国際卓越研究大学 第一号の挑戦

東北大学は、2024年12月、日本初の「国際卓越研究大学」に認定・認可されました。「国際卓越研究大学」とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学を国が認定する新しい制度です。東北大学はこの第一号として、これまでに重ねてきた歴史と国からの支援を原動力に、大学改革を加速させ、卓越した研究、人材育成、そして社会との共創を通じて、未来を切り拓いていきます。

3つのコミットメント

本学は国際卓越研究大学の体制強化計画において、3つのコミットメントである、Impact（未来を変革する社会価値の創造）、Talent（多彩な才能を開花させ未来を拓く）、Change（変革と挑戦を加速するガバナンス）のもと、世界の研究者を惹きつける研究環境や全方位の国際化などの6つの目標を達成するための19の戦略を提示しています。

1. Impact

「研究第一」「実学尊重」の建学理念、さらには東日本大震災での課題解決の経験に立脚し、研究の卓越性を妥協なく追求することを通して社会価値を創出します。

2. Talent

既成概念を打ち破り日本で初めて女子学生を受け入れた「門戸開放」の精神を踏襲し、世界から多彩な才能を惹きつけ、その力を開花させ、人類の未来に貢献します。

3. Change

目標達成に向け変化を恐れず大胆に挑戦する決意をもって、経営およびガバナンスの高度化を図るとともに、将来を見据えて不断に見直し、継続的に改革します。

→ 東北大学 国際卓越研究大学の体制強化計画

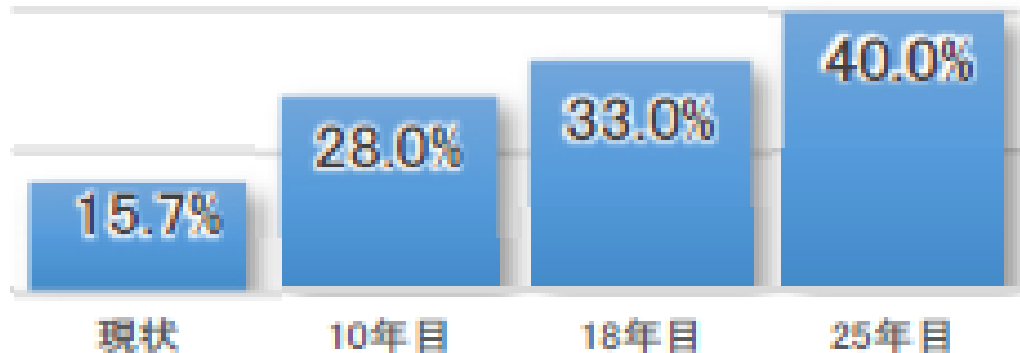
各公約に対する目標

- Impact** I-A Research Excellence 国際的に卓越した研究エコシステム（学術的インパクト）
I-B Impactful Research and Innovation 世界に変化をもたらす研究展開（社会的インパクト）
- Talent** II-A Campus for Aspiring Minds 世界の研究者を惹きつける研究環境
II-B Gateway to New Venture 世界に挑戦する学びの創造
- Change** III-A Full Scale Global Readiness 全方位の国際化
III-B Responsive and Responsible Governance 機動的で責任ある経営とガバナンス

目標II-A Campus for Aspiring Minds 世界の研究者を惹きつける研究環境

重点KPI：外国人研究者比率、女性研究者比率、PI研究ユニット数、PI対象教員とスタッフの比率、国際対応のあるスタッフ比率

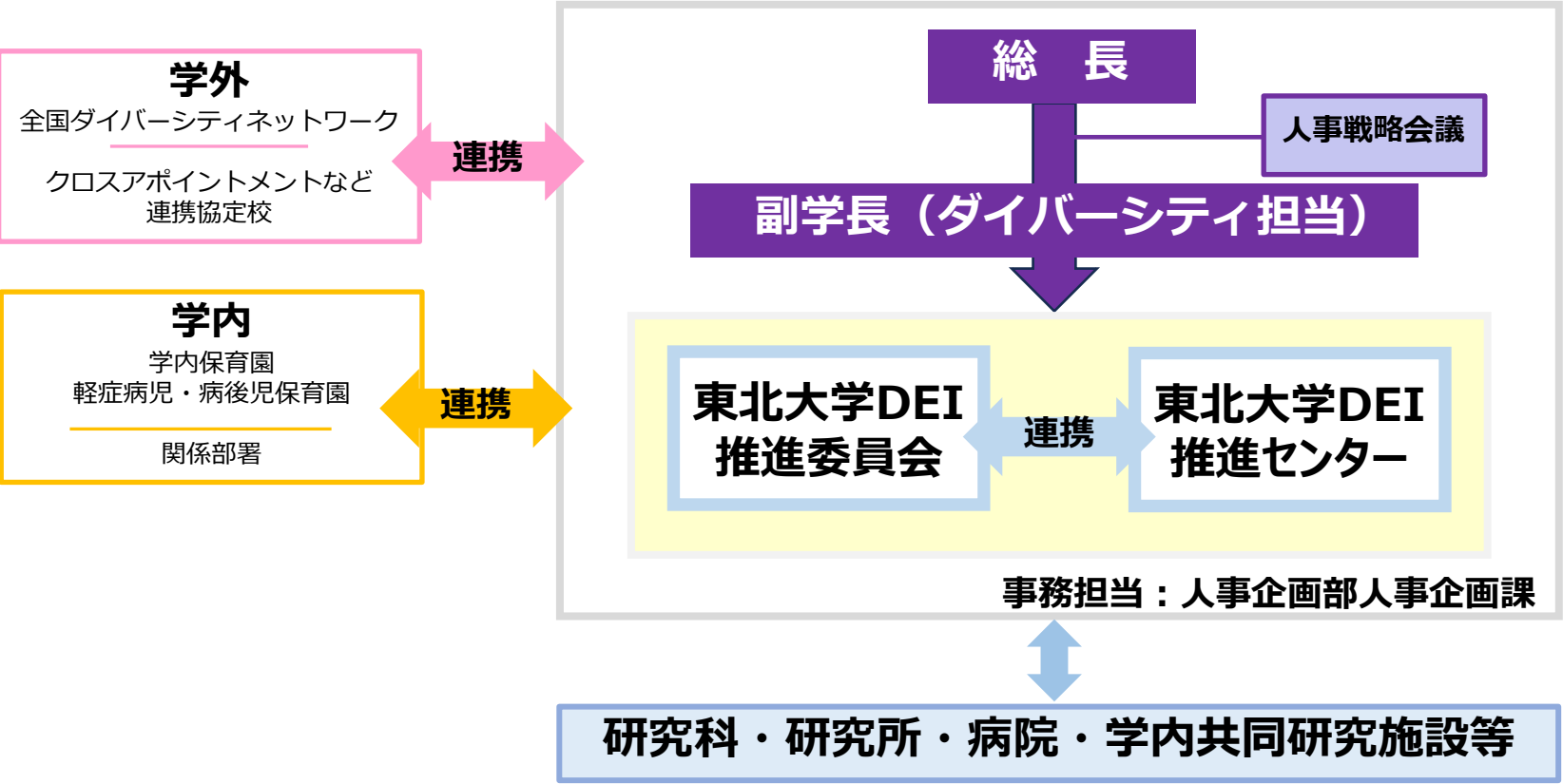
女性研究者比率



欧米の大学、海外の大学は40%超えや40%程度（日本全体は2022年度、17.8%）

東北大学の女性研究者比率（2025年5月1日）

平均	20%
教授	9%
准教授	14%
助教	28%



**【人事戦略会議】
(2019～)**

議長：総長
副議長：プロボスト
委員：理事・副学長、総長補佐、事務機構長、各部長
戦略的なダイバーシティ研究環境の整備・推進を実現

2019年～
戦略的人事の促進に係る支援制度事業
- 3分の1ルールを実施
- インセンティブとペナルティの実施

2025～
上記支援事業も含めた、新たな
取り組みを加えた**加速支援パッケージ**をスタート

2019年～ 人事戦略会議が設立され、戦略的人事の促進に係る支援制度事業が開始され

- ー昇進の支援
- ースパウズプログラム
- ー若手女性・若手外国人特別教員制度（採用の支援）

引き続き年1%の増加

2025年～上記支援事業を継続しながら、新たな取り組みを加えた加速支援パッケージを開始

新たな取り組み

女性限定ヘッドハンティング

- ー超優秀な女性教員を確保（国際卓越研究者として部局に別枠の措置）

全学をあげての女性限定国際公募

- ー本部から新たな枠を用意（外枠）
- ー東北大学の女性教員の構成状況に鑑み、上位職の採用に注力
- ー准教授・教授においては本部からの人件費は、部局の希望通り（年限制限なしも可能）
- ー各部局が十分に考えての公募要項や選考
- ーテニュアトラック制度も利用可能とし、テニュアを獲得して昇進する場合は一つ上の職位までの人件費も支援
- ー3年のスタートアップ研究経費（教授には若手教員の採用分も配分）

年10人程度×5年
50人増加を目指す

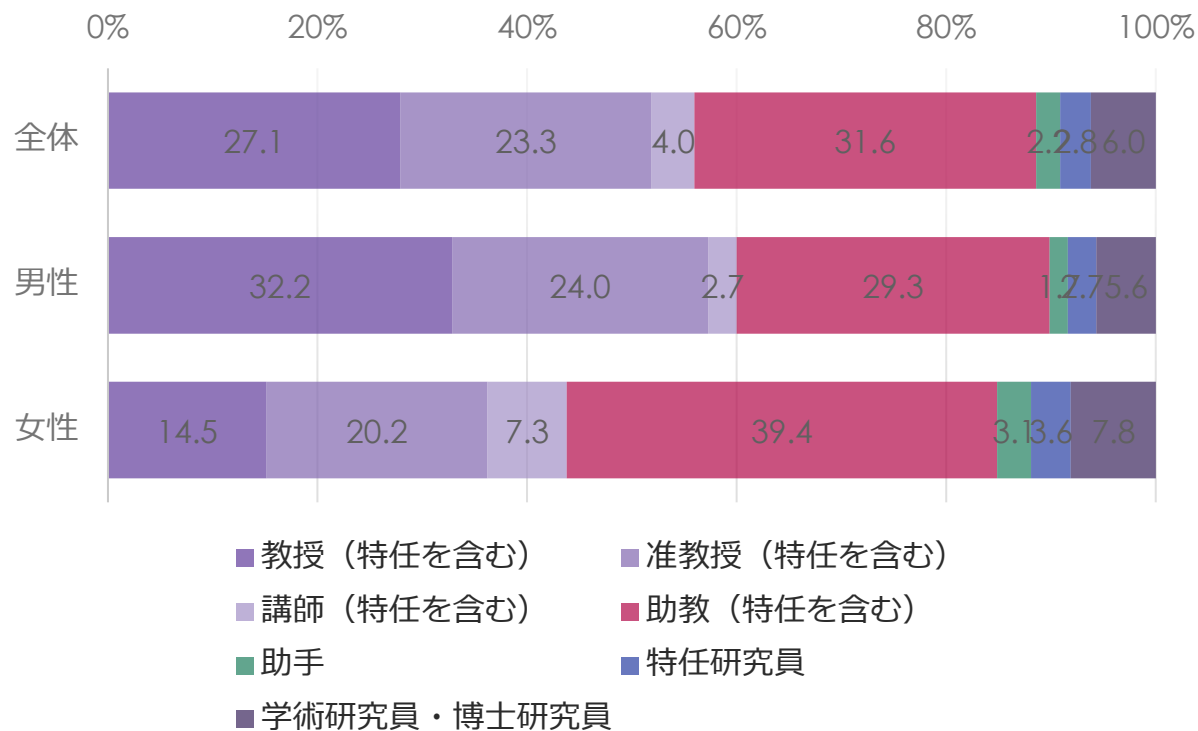
優秀な女性教員を
採用し育成する

全49問（属性（研究分野、ポジション、学位、出身地、年齢、子供の有無し性別）、時間の使い方、働く時間、在宅勤務、仕事の特徴、働き方、仕事と家庭の両立）

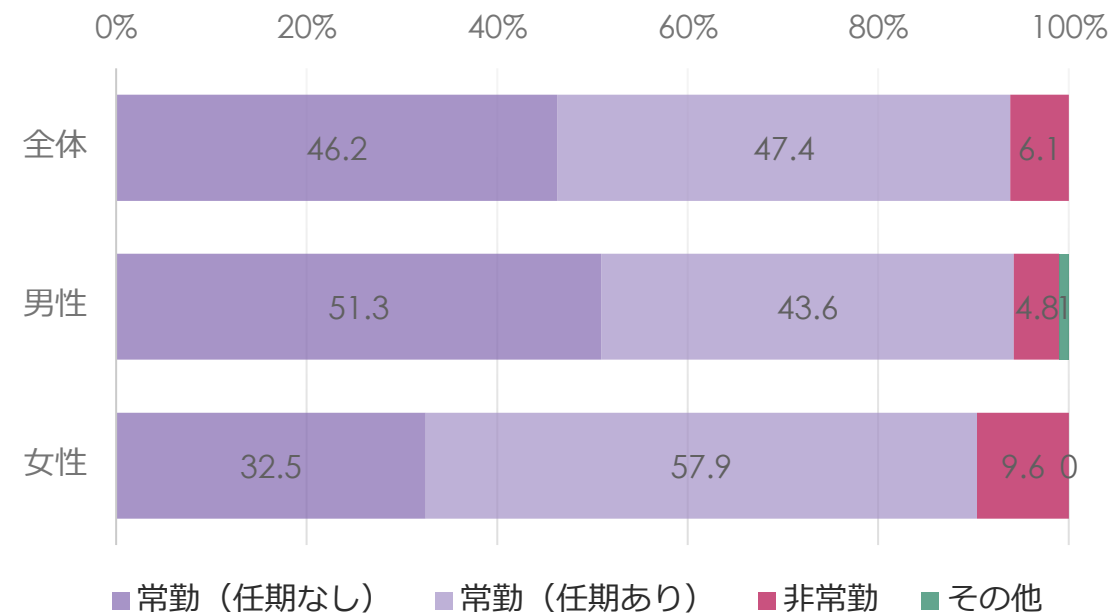
全教職員＋特任研究員、博士研究員、学術研究員の4707名中645名回答⇒ 13.7%の回答率

日本国籍研究者4197名中の回答率は12.8%、外国籍研究者510名中の回答率は21%

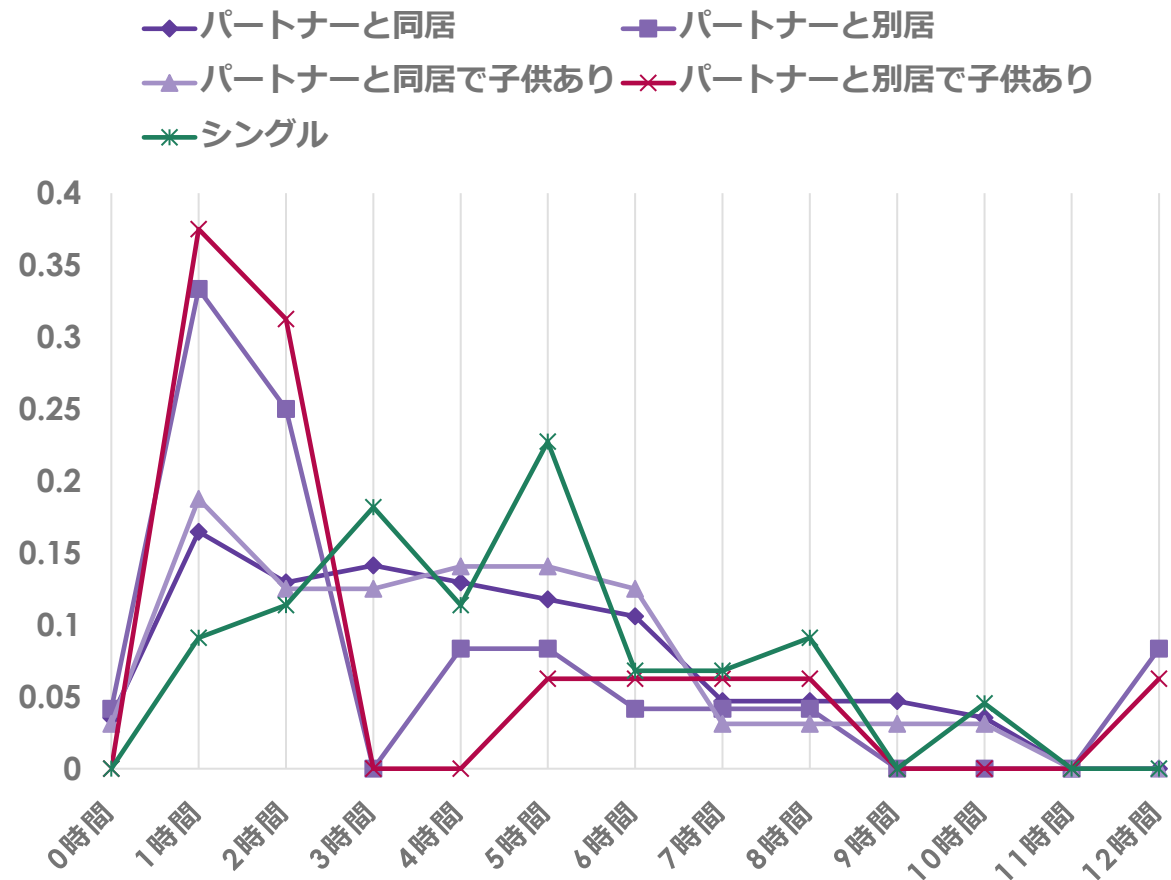
職位



雇用形態

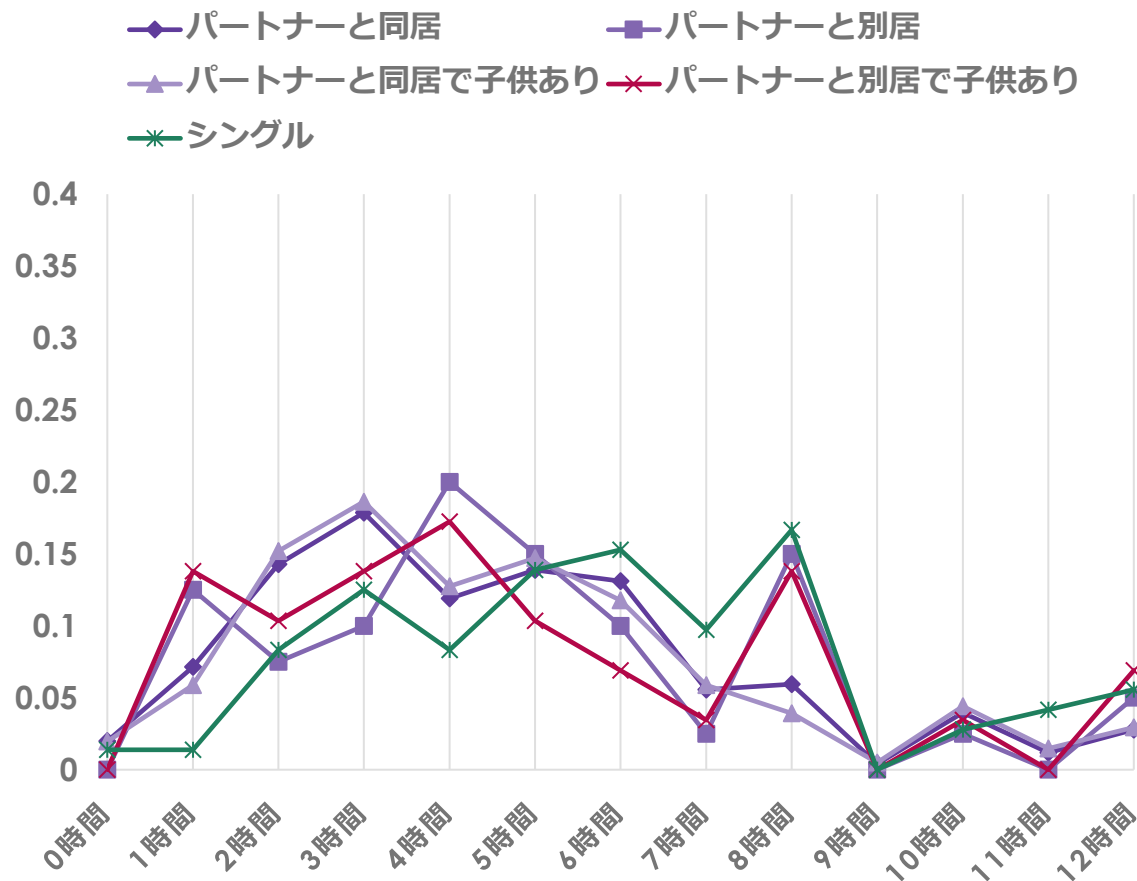


女性



女性は、パートナーと別居、パートナーと別居で子供ありの研究時間は1, 2時間にピークとなっている

男性

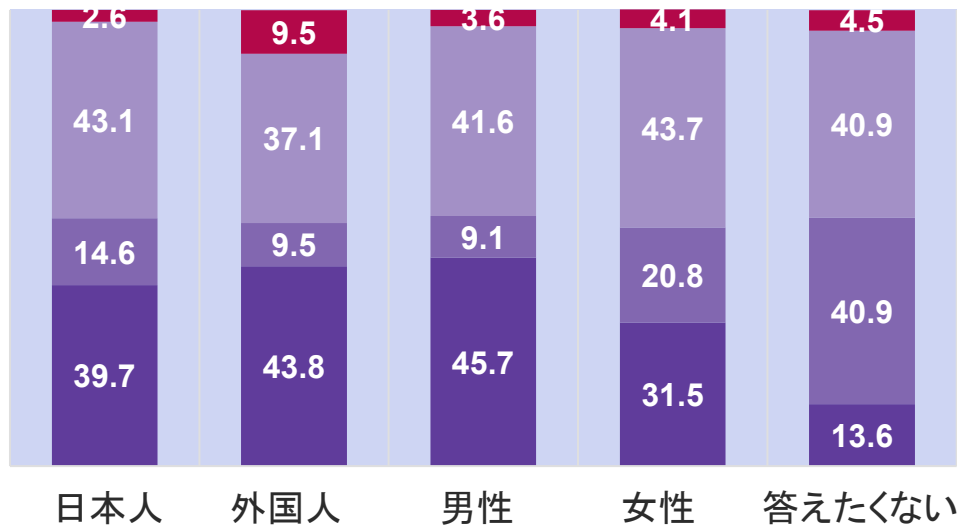


男性は、どのような方でも研究時間にさほど変動がない

ハラスメントや差別について

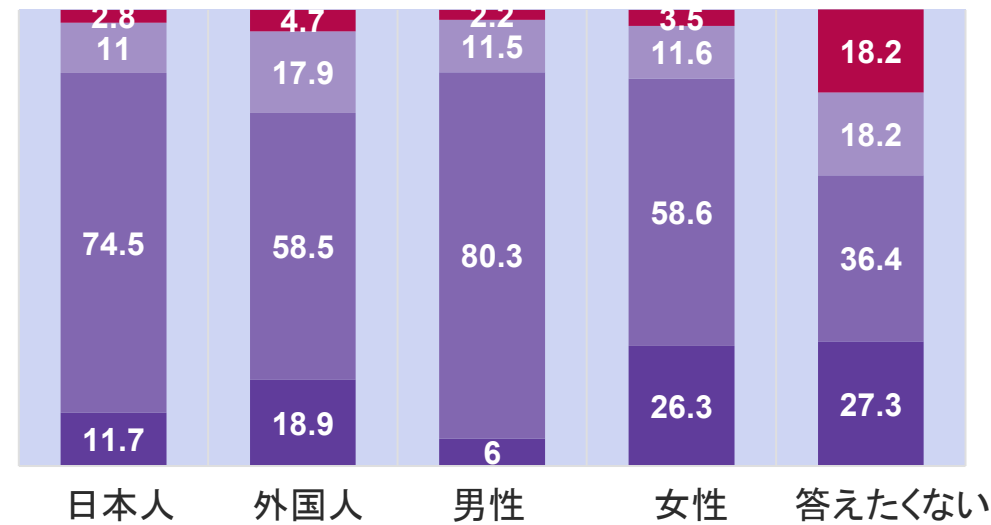
■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない

Q.私は、いじめやハラスメントの事例を安心して報告することができる



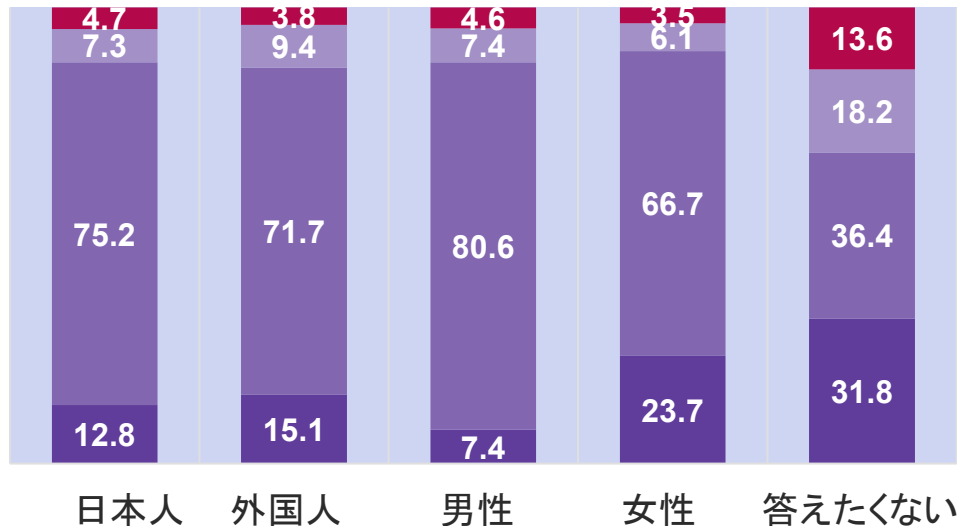
Q.仕事中に個人的に差別を感じた

■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない



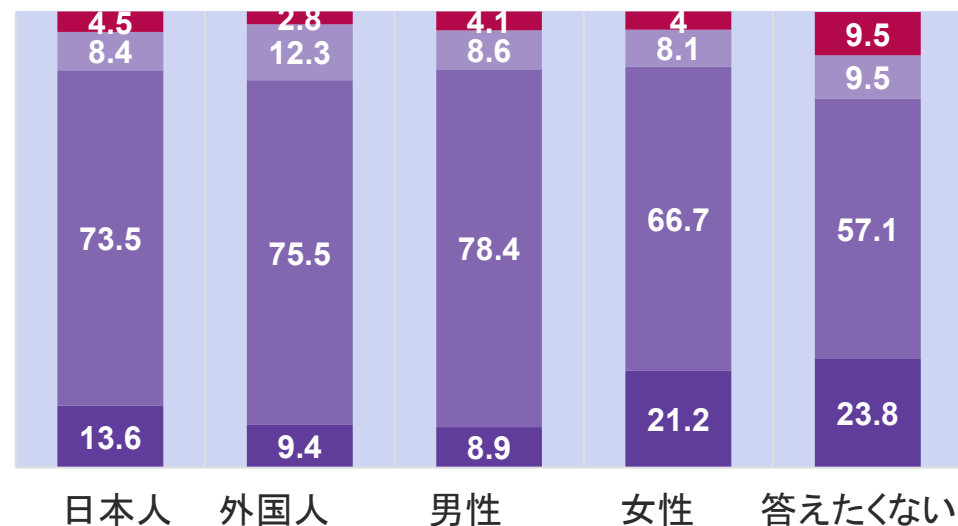
Q.個人的にいじめや嫌がらせを受けたと感じた。

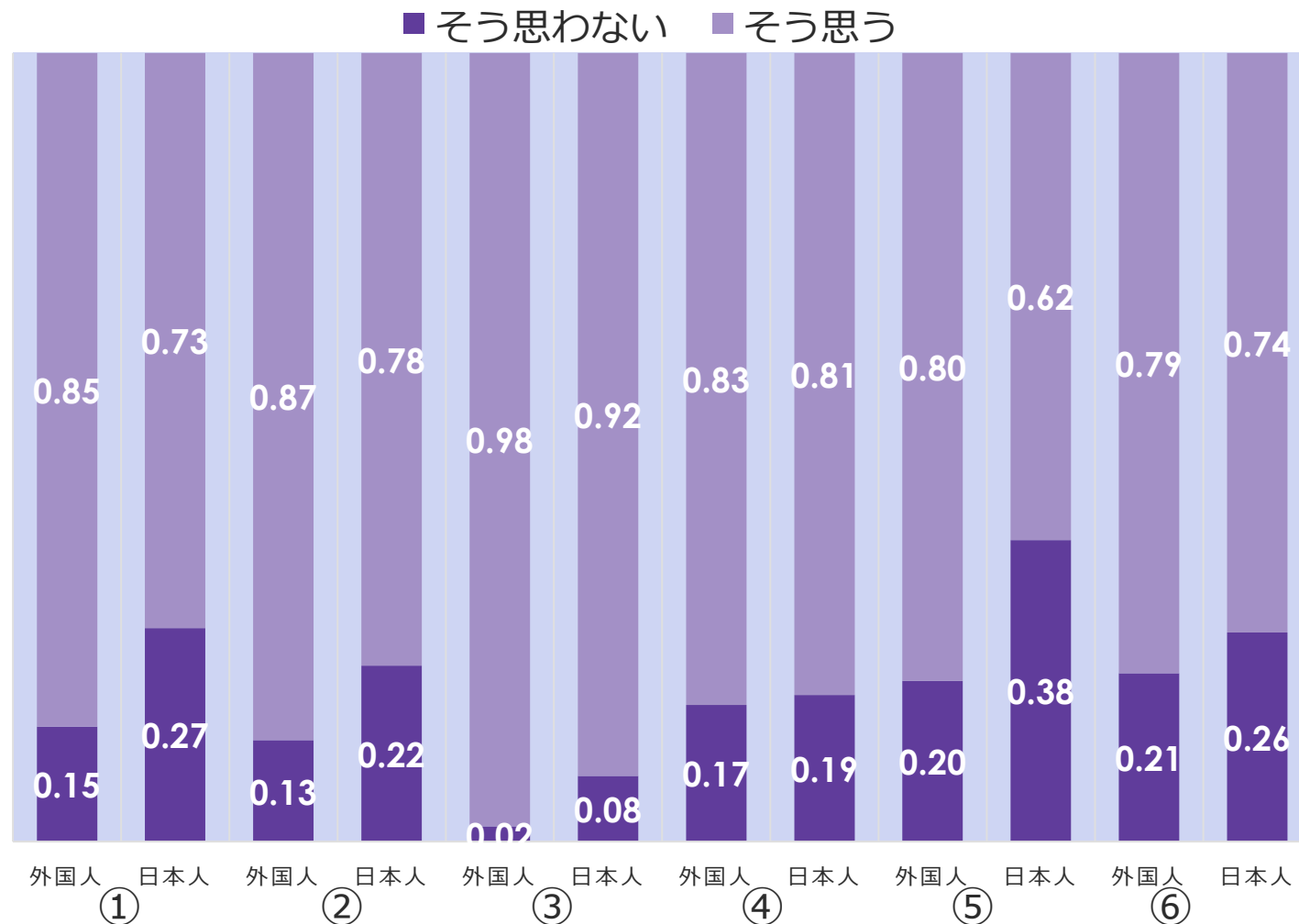
■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない



Q.研究水準や誠実さを損なうような圧力を個人的に感じた。

■ はい ■ いいえ ■ 分からない ■ 答えたくない





- ①自分の研究やその他の活動による貢献が適切に評価されている
- ②採用プロセスは公正である
- ③学術・研究倫理の遵守が推進されている

- ④学術・研究における平等性と多様性が推進されている
- ⑤職員のメンタルヘルスとウェルビーイングの重要性を積極的に推進している
- ⑥研究者の働き方は、個人の事情（研究と子育てや介護の両立、言語能力や宗教など）に十分配慮している

- ・ DEI推進に不足していること
- ・ 東北大学の教育・研究環境や設備、各種の支援・サービスについて、改善して欲しいことや要望、大学にして欲しいこと

DEI推進を行う上での公平性の十分な検討とより広範な層でのDEI支援、
DEI推進のための支援制度・サービスの周知徹底

研究時間の確保・創出、働き方改革（時間外労働への配慮）、事務・技術業務
の適切な人員確保

国際研究者への言語サポート強化と環境整備、国際性向上に資する施設の整備

その他諸々・・・

**真のDEI推進のためには、DEI推進センターやDEI推進委員会だけでなく
他の部署とも連携して課題に取り組む必要性を確認できた**

スタートアップ研究費



女性リーダー育成
新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援
○新規採用の女性教員(助教以上)

R7年度
スタートアップ 30人 28人採択
前年比1.43倍

ネクストステップ研究費



女性リーダー育成
新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援
○女性教員(准教授、講師、助教、助手)
○科研費に申請して、結果があることが申請要件

R7年度申請数
ネクストステップ 1回目 30人
前年比 1.5倍
2回目 21人
前年比 1.9倍

研究支援要員



両立支援・女性リーダー育成
研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助
○出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)
○国の審議会委員などの要職に就く女性教員・技術職員

R7年度
研究支援費 53件 前年比 1.36倍

ベビーシッター利用等補助



両立支援
研究・教育・職務と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助
○育児を行う教員、技術職員、ポスドク、事務職員、博士学生等(男女)
○長期休み機関の利用仙台市に登録している個人シッター、一時託児の利用も可能

R7年度
ベビーシッター 12人 前年比 2倍

男性職員が利用可能な育児支援制度

出産養育休暇(産前から1歳まで15日間有給)
出生時育児休業(出生後8週以内28日間無給*)
育児休業(3歳まで申し出た期間無給*)
*別途雇用保険による給付制度あり

男性職員の育休の取得率は
令和6年度は52%
(R4 53%、R2 35.3%) 目標値80%

研究費からの「子の出張帯同費用等」の支出

子を出張に帯同させる際の以下の費目について研究費から支出を可能とする
①子の往復の交通費、②子の宿泊費、
③託児費用など
(ただし、支出可能な財源に限る)

R5年度(1月から3月) 利用20件
うち男性の利用件数は2件
R6年度 利用69件
うち男性の利用件数は24件
R7年度(4月から10月) 利用47件
うち男性の利用件数は19件

男性や外国人の利用が増加



第一回東北大学DEI推進フォーラム 「東北大学が目指すDEIとは～サポート現場から～」 (2024/02/28)



DEIセンターの報告とパネルディスカッションの様子



牛尾則文理事（人事労務・環境安全・施設担当）、滝澤博胤理事
（教育・学生支援担当）、大隅典子副学長（広報・ダイバーシティ担当）（役職は当時）

関係5部署：

学生相談所、特別支援室、グローバルラーニングセンター、キャリア支援センター、DEI推進センター

- 各取り組みの紹介
- 多様化する構成員の特性や属性、それに伴う現場での対応などを共有
- 連携の重要性を確認
- パネルディスカッション時に学生から直接要望 → **DEIラウンジの設置**



DEI Loungeの新設 “知る、交わる、広がる”

DEI Loungeは、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

時間：毎週水曜日 12：15～16：00

場所：国際交流棟1階

(利用の際にはグランドルールの遵守が求められます)



2024 10/16 (WED)

OPEN!!

DEI Lounge

12:00-14:00

ワークショップ

「話してみない?」

#ジェンダーのまよもや

講師

中林 加南子氏

エル・パーク仙台 管理事業課

菊池 しひろ氏

せんだい男女共同参画財団 総務企画課

会場

国際交流棟 1階

(川内北キャンパス)

申込

定員 30名 締切: 10月9日 (水)

対象: 本学の教職員、学生・大学院生

下記のQRコードより申し込みください。

※定員に達した場合、上記日時の前に受付を締切する場合があります。

DEI Lounge オープニングイベント

ウェルカムドリンク 軽食付き

定員 30名 (参加無料)

DEI Lounge とは?

DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互いが尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。

DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

“知る、交わる、広がる”

どなたでも利用できます。

DEI Lounge の詳細はこちらから▶

問い合わせ先 東北大学 DEI 推進センター

TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp



2024年10月16日 オープンの日の様子

参加者からのラウンジへの期待

「何気ない一言を受けとめてくれる場所になってほしい」

「気軽に立ち寄れて話ができる場」

参加者からの声

「DEIを実現するためにはマイノリティの声だけに頼るのではなく、マジョリティにDEIを勉強するチャンスを増やしていく必要がある」

DEIラウンジ セミナー・ワークショップ 2024年度

10月16日	話してみない#ジェンダーのモヤモヤ (エルパーク仙台 中林加南子氏 せんだい男女共同参画財団 菊池しひろ氏)
11月20日	映画上映会 DEI MOVIE SCREENING 「世界は僕らに気づかない」 Angry son
12月25日	Happy Holidays!
2月5日	読書会 『トランスジェンダーQ&A素朴な疑問が浮かんだら』

- ・センターが企画するEventは月1回、それ以外は自由
- ・学生スタッフとも協力しながら企画運営を行う

なお、学生の試験期間、長期休みなどは閉室



11月 DEI Lounge EVENT

2024 **11/20** (WED) **15:00**～
- 映画上映会 -
DEI MOVIE SCREENING



Title
「世界は僕らに気づかない」
Angry son

対象 本学の学部生、大学院生、教職員
Eligibility All members

会場 DEI Lounge
Venue 国際交流棟1階 (川内北キャンパス)
International Exchange Building 1F (Kawauchi-kita Campus)

音声/字幕 日本語のみ / Japanese only
Audio / Subtitle

● 映画詳細 ▶ <https://sekaboku.lespros.co.jp/>

参加無料
free



“知る、交わる、広がる”

DEI Lounge とは？



DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互い尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。

DEIに関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

どなたでも利用できます。

DEI Lounge の詳細はこちらから ▶





東北大学 DEI 推進センター
Center for Diversity, Equity, and Inclusion, Tohoku University
TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp

問い合わせ先
Contact

DEIラウンジ セミナー・ワークショップ 2025年度

5月28日	読書交流会「おすすめの本を1冊持ち寄って紹介しませんか？」
6月25日	映画鑑賞会 「燃ゆる女の肖像」
7月16日	アメリカのDEIはいま？ ～現地日本人大学生と語るダイバーシティの現在地～
11月26日	聴覚障害のバリアをこえて、つながろう —Let's enjoy communication!

- ・ セミナー・ワークショップのEventは月 1 回
- ・ DEI推進関連の勉強会なども企画
- ・ **他の部署とも連携**し、学生スタッフとも協力しながら企画運営を行う

交差性も考慮したDEI推進のために、部署を超えた
実務者レベルのDEI推進WGを準備中



11月 DEI LOUNGE EVENT

参加無料 free

2025 **11/26** (WED)
12:30 ~ 14:30 (途中参加・退席可能)

DEI ラウンジの開催は 12:15 ~ 16:00

聴覚障害のバリアをこえて、つながろう —Let's enjoy communication!

対 象 本学の学部生、大学院生、教職員
Eligibility All members

会 場 DEI Lounge 国際交流棟 1 階 (川内北キャンパス)
Venue International Exchange Building 1F (Kawauchi-kita Campus)

言 語 日本語
Language Japanese



どなたでも利用できます。

DEI Lounge とは？



DEI Lounge は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、人種や民族などあらゆるバリアを乗り越え、お互い尊重しあう社会の実現に向けて学び、理解を深める場です。

DEI に関心を持つ学生・教職員は誰もが利用でき、参加することができます。

DEI Lounge の詳細は[こちらから](#)▶



問い合わせ先
Contact

東北大学 DEI 推進センター

Center for Diversity, Equity, and Inclusion, Tohoku University
TEL : 022-217-6092 E-MAIL : dei-center@grp.tohoku.ac.jp

DEIあんしんPROJECT 「誰もが快適な生理を」 (2024/5/13-6/10 実施)

2024年5月13～6月10日 May 13th to June 10th, 2024

DEIあんしん
PROJECT

生理用ナプキン 設置トライアル実施中

Trial for the installation of sanitary
napkins

必要な方はご利用ください

Please feel free to use it if needed

誰もが快適な生理期間を過ごすための取り
組みとしてトライアルを実施しています。

To everyone has a comfortable menstrual period,
we are conducting this trial.



トライアル期間中、ナプキンは定期的に補充しますが、
在庫が無くなった場合はご了承ください。
During the trial, napkins will be replenished regularly, but please note that
they run out of stock, your understanding is appreciated.

2025年 夏オープンキャンパス 2万個無料配布 共同開発の教員の紹介・



生理用ナプキン 無料配布を実施中

必要な方はどなたでもご利用ください

誰もが快適な生理期間を過ごすための
取り組みとして無料配布を実施しています。

在庫が無くなり次第終了となります。
より多くの方が使いになるように必要な分だけお持ちください。

東北大学ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン (DEI) 推進センター
東北大学人事企画部人事企画課 DEI 推進係

川内北キャンパスで実施
アンケート結果をDEI推進委員会へ報告

常設に向けて全学で対応検討

澤柳フェローランチMTG

(2025年6月16日開催)

～富永 悌二総長から女性研究者へのメッセージ～



モノを申せる雰囲気づくりと
ネットワーク構築

[illegible]

□女性研究者顕彰制度

●紫千代萩賞

・女性研究者の活躍促進、優れた研究成果の創出につなげることを目的に4分野（人社、理工、医歯薬、農生命）の若手女性研究者を顕彰

・猿橋賞の複数の受賞者や、複数の昇任など。受賞者は**創発的研究支援事業**など大型予算に採択、**東北大学プロミネントリサーチフェロー**にも複数名採用



授賞式・受賞講演後の総長との懇談会



2025年2月6日 受賞者

内藤 真帆
文学研究科准教授

消滅危機に瀕したヴァヌアツ共和国の未解明無文字言語の研究

千葉 杏子
学際科学フロンティア
研究所助 教

キネシンの自己阻害異常とヒト疾患の関わりについての研究

佐藤 恵美子薬学研究科
准教授

低出生体重が及ぼす世代を超えた影響の研究

**現在、第9回 東北大学優秀女性研究者賞
「紫千代萩賞」を公募中**

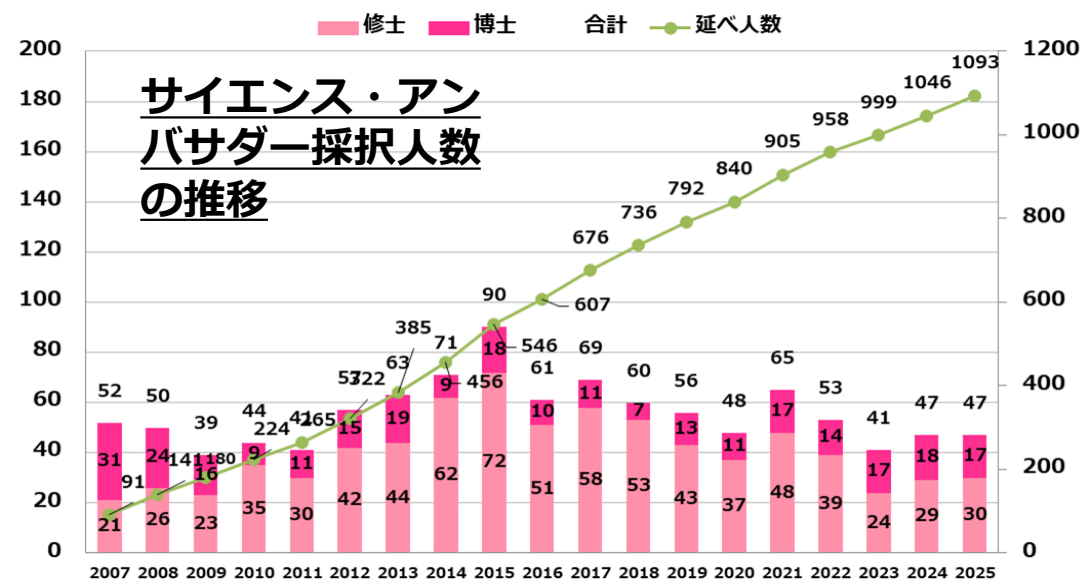
締め切り：2025年11月27日（木）17時（必着）

サイエンス・アンバサダーの活動

(旧：サイエンス・エンジェル)

- 科学の面白さ・楽しさを伝える「大使」小中高生へのロールモデル
- 科学イベント・出張セミナー
- note記事による発信
- 研究者マインドの醸成
- SAOGや協力教員などによるメンタリング
- ネットワーク構築

毎年7月のオープンキャンパスにて「研究者ってなに？～SAオープンキャンパス編」を開催。片平まつりや地域科学イベントなどで地域や社会に貢献



(左、中央) 2025年オープンキャンパスの様子、(右) 片平まつり

2002年度から開講した「ジェンダーと人間社会」→2022年度から2講座に改編
2024年は「ジェンダー共創社会」「インクルージョン社会」を開講

2002年度～：人文社会系として開講

2015年度～：自然科学系まで拡大

2017年度 総長教育賞受賞



●ダイバーシティへの意識啓発

●全学教育の単位

インクルージョン社会：前期・後期2回開講

ジェンダー共創社会：前期のみ

●オムニバス講義

「文系・理系」の専門家 計12～13名

●前期・後期で200名が受講

2023年度～ 開講

**東大、お茶の水女子大学と3大学連携の
集中講義**

「ジェンダード・イノベーション入門」

2025年度 教科書

**「ジェンダード・イノベーション入門」
を上梓予定**

インクルージョン社会

教員	講義題目
田中真美	イントロダクション
高松美能	文化共生社会と人権
大澤絢子	宗教とダイバーシティ
秋山正幸	インクルージブな大学とは
ローツマイア	多様な家族と法
関口雄介	身体的弱者（障害者・高齢者）との共生
石川美希	障がいのある人との共生：聴覚障がいを例に
李善姫	日本における多民族・多文化共生の現状と課題
末松和子	多文化理解と国際共修活動
前川直哉	多様な性と性的マイノリティ
大隅典子	脳の性差とダイバーシティ
矢ヶ崎将之	ジェンダーの経済学入門
佐々木成江	科学とジェンダー～性差分析がもたらす科学技術の発展と多様性の確保～
	グループワーク
	グループワークと期末テスト

ジェンダー共創社会

教員	講義題目
李善姫・鶴田想人	イントロダクション
李善姫	ジェンダーと緊急時リスク
田中重人	家族とジェンダー
神谷哲司	子育て・教育とジェンダー
朝倉京子	ジェンダーとケアワーク
大森駿之介	性の多様性から考えるDEI
中村文子	ジェンダーと人身売買
皆川朋子	女性ヘルスケアの課題とフェムテック
鶴田想人	科学史の中のジェンダー
小川真理子	相談支援とジェンダー
宮崎真理子	生物学的な性、社会的な性から健康と病気を考える
臼井恵美子	経済学における差別の理論モデル
大隅典子	なぜ、理系に進む女性は少ないのか？
佐々木成江	ジェンダード・イノベーション
	グループワーク

[illegible]

SA報告書 (SAが作成)

<https://dei.tohoku.ac.jp/learn/publications/>
刊行物が見られます



作成したリーフレットやニュースレターは新入生や部局や構成員に配布

2025年8月21日 女子大生の日イベント開催 SAキャラクター たまか が誕生



デザインを考案したSAの張亦弛さん（医学系研究科博士課程1年）に、感謝状と記念品の「たまか」こけしを贈呈



こけしは 鳴子温泉川渡地域づくりユニット カガモクさんが製作



「たまか」うちわと「伊右衛門 特茶」



「女子大生の日」の認知度に関する調査を行うサイエンス・アンバサダー



「たまか」のこけしを手にする富永総長(右)と田中副学長(左)

日本初の女子大生3人のうちの一人である、黒田チカはタマネギの外皮色素ケルセチンに血圧降下作用があるという大発見をしました。「たまか」は、「タマネギ」と「チカ」を組み合わせで名付けられたサイエンス・アンバサダーの新しいキャラクターです。

- 女性研究者比率向上加速支援パッケージを実施し、国際レベルの大学組織に
- 支援制度なども効果を分析しながら、さらに各種支援事業などを実施
- DEI推進の組織だけでなく連携を強化し、大学全体としてさらなるDEI推進に取り組む

